

みんな
の
らいふ



前橋市自立支援協議会広報

みんなのらいふ 第12号

発行日 平成28年9月1日

題字及び帯イラスト：留目 良治 様(桂莊)

発行元：前橋市自立支援協議会

お問い合わせ先：

前橋市障害福祉課 前橋市自立支援協議会

広報啓発部会 事務局

電話027-220-5714 Fax027-223-8856

ホームページ [http://www.city.maebashi.gunma.jp/
kurashi/42/125/139/p002057.html](http://www.city.maebashi.gunma.jp/kurashi/42/125/139/p002057.html)

みんなのアーツ（作品紹介）



【題名】コアラ 【作者】行徳 康子 様 (グループホーム花豆)

題字・作品募集

本誌に掲載する題字や作品（イラスト、挿絵等）を募集しています。あなたの作品で本誌に彩をそえていただけませんか。詳しくは事務局（連絡先は表紙に記載しております）へお気軽にお問い合わせください。





多趣味なパン職人 野口 雅史さん

(ベーカリーカフェすてっぷ)

野口さんは平成16年にベーカリーカフェすてっぷの障害者雇用に応募し、パン作り一筋12年のベテランさんです。

朝は6時半に自転車で家を出発し、7時から午後3時30分まで働いています。

生地の仕込みから分割、焼く仕事を主に担当し、その他の仕事も積極的に取り組んでいるそうです。

お仕事の他にいろんな趣味をお持ちだと伺い、野口さんのMyらいふをインタビューしました。



オーストラリアの
ケアンズでコアラと
一緒に記念写真



野口さんの一週間

月～金	土	日
7時～午後3時半 就労（ベーカリー カフェすてっぷ）	水泳	第1・3日曜 吹奏楽 (チームあかぎ)
第1～3木曜 合唱（わの会）		第2・4日曜 市立図書館

Q パンを作っていて、辛かったこと、良かったことは何ですか？

A 最初の頃は、パンを焼いたら、色が付きすぎてしまったことがあります。パンがいっぱい出来た時にパンを移動させることがうれしいです。

Q チームあかぎではどんな楽器を演奏しているのですか？

A 平成5年に入ってからトランペットを吹いています。いろんな場所で演奏し、平成13年にはディズニーランドで演奏しました。聖者の行進、ムーンリバー、ミッキーマウスマーチなど演奏しています。

Q 毎日多忙に過ごされていますが、元気の秘訣はなんですか？

A 自転車通勤と毎週土曜の水泳です。平泳ぎ、クロールで100mは泳ぎます。

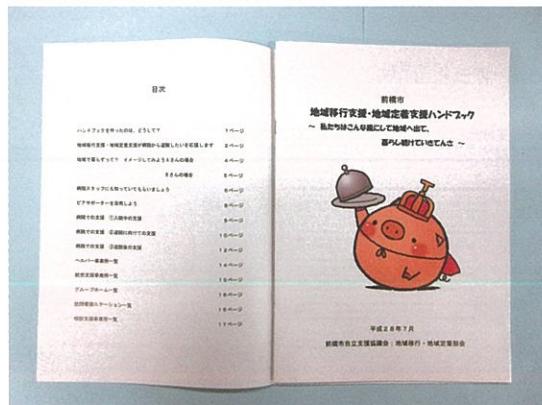
Q 好きな食べ物は何ですか？

A お魚、野菜、すてっぷのパンです。

Q 他に楽しみはありますか？

A ハワイ、グアム、オーストラリアなどいろんな場所に施設の旅行で出かけています。

地域移行支援・地域定着支援ハンドブックを作成しました



前橋市自立支援協議会地域移行・地域定着部会では、長期入院や施設入所から地域生活への移行を目指している障害者を支援する目的で、「地域移行支援・地域定着支援ハンドブック」を作成しました。

地域移行にあたって具体的にどのような支援が受けられるかといった内容になっており、前橋市保健所（障害福祉課・保健予防課）や前橋市内の相談支援事業所などで配布しているほか、前橋市のホームページからもダウンロードできますので、興味のある方はぜひご覧ください。

『前橋市手話言語条例』ができました！

手話は言語であるとの認識に基づき、手話とろう者について理解し、市民の誰もが助け合い、支え合う社会を目指して「前橋市手話言語条例」を平成27年12月7日に制定しました。

手話への理解を深めるとともに、手話を使いやすい環境を整えることで、ろう者と聞こえる人たちがお互いに尊重し合いながら生きていける地域社会を実現します。

平成28年4月1日
にスタート（施行）
しました。

条例の概要

この条例では、次のことが定められています。

○市民・事業者・行政など関係機関が、手話に関する取り組みを協力して行うこと。

○誰もが手話を学べる機会を作ること。

○福祉分野だけでなく、教育、医療、災害時の対応など、幅広い分野の取り組みを計画的に進めること。など
※このご案内は前橋市のホームページからダウンロードできます。

また、条例の全文も掲載しています。

<http://www.city.maebashi.gunma.jp/kurashi/42/125/126/p016576.html>



「手話」とは

聞こえに障害のある人たちの生活の中から生まれ、発展してきた言語であり、手指や体の動き、表情を使って視覚的に表現する「目で見ることば」です。



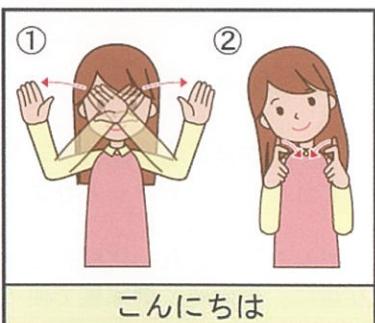
「ろう者」とは

聞こえの障害は、外見からでは分かりません。「全く聞こえない」、「聞こえづらい」など聞こえ方は様々ですが、聞こえに障害がある人たちのうち、手話でコミュニケーションをとる人たちを「ろう者」と言います。

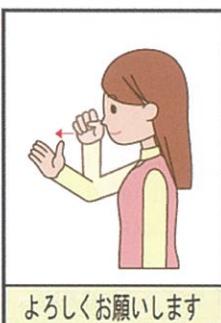
また、ろう者の社会参加には、ろう者と聞こえる人たちをつなぐ手話通訳者が重要な役割を担っています。



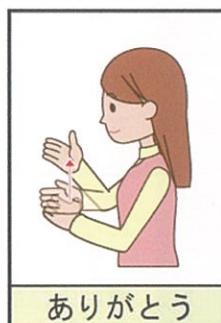
簡単な手話を覚えてみましょう



こんにちは



よろしくお願いします



ありがとうございます



なんですか？

「みんなのフェスタ」出演団体募集

前橋市自立支援協議会が開催する、「みんなのフェスタ」にて、ステージ発表や作品展示をしていただける出演団体を募集します。音楽活動やダンス、絵画や貼り絵等々、日頃から取組んでいる活動を発表する場として参加してみませんか？

開催日：平成29年1月29日（日） 会場：前橋市総合福祉会館

対象：市内を拠点に活動する障害児者の団体（サークル等）、特別支援学校の児童生徒、市内障害福祉関係施設等の利用者（申込多数の場合は選考）

申込締切：9月23日（金）

詳細は、事務局（基幹相談支援センター）Tel 220-5714へ。

就労支援部会より「企業向けセミナー」を開催します

本年度も障害者就労を支援する機関（就労移行支援事業所、ハローワーク等）と障害者雇用を検討している企業を対象に、「企業向けセミナー」を開催します。事例報告や意見交換を通して、企業と福祉の相互理解を深め、障害者雇用の促進を目指します。



【日時】10月14日（金）午後1時30分から

【会場】前橋市総合福祉会館

【内容（予定）】

- ・講義1：自立支援協議会及び障害福祉サービスの説明
- ・講義2：障害者雇用の仕組みと雇用の現況について
- ・DVD視聴：障害者雇用の事例や実際に働いている様子
- ・事例発表：就労移行支援を経て一般就労に至ったケース
- ・意見交換会

階段の手すりの工夫（ユニバーサルデザインの紹介）

通常の手すりは斜め一直線で、滑りやすかったり、力をかけにくいことがあります。

くねくねしている手すりには、「取っ手」のように使える垂直部と、「杖」のように使える水平部があるため、手すりをつかんだときに、手すりに体重をかけやすくなっています。まっすぐな手すりと比べて握った時の手首の角度が自然なため、握り込みやすく、滑りにくい設計です。階段を上るときは手すりを引っ張りやすいし、下るときには体重を真下にしっかりと支えてくれます。

重い荷物を持って階段をあがる時や、エスカレーターやエレベーターの設置が難しい施設もあるので、階段を使う人が少しでもラクに使えるよう配慮されています。



これなあ～に？



手の届かない部分でもこれを使えばもう大丈夫。

1人暮らしの方や身体が硬い方、片麻痺のある方でも上手に使いこなせます。

誰か湿布を張ってくれませんか？

でも常に誰かいるわけでもないし・・・。

そんな時に活躍してくれるのが「しつぶ貼りひとりでペッタンコ」です。

一人でも簡単にどんなところでもしつぶが貼れるお助けアイテム。肩甲骨の内側に貼りたい時やねじれてしまいピタッとうまく貼れないときにはもってこいです。

患部にそわせてスライドするだけでシワなくきれいに貼れます。使い方は簡単です。自分用に、お友達に、御両親や御家族で使ってみて下さいね。

答えは…「湿布貼り器」

編集後記

風にやさしく揺られながらポツポツと咲き始めた秋桜の花に秋の訪れを感じる季節になりました。皆様に喜んで読んでいただけるような紙面をお届けしたいと願い、桂荘、青空、ドアーズ、あいのて、そして、毎日をいきいきと過ごされている野口さんなど、たくさんの方のご協力をいただき、「みんなのらいふ」第12

号を無事に発行することができました。

今年4月に施行された障害者差別解消法により、全ての障害者に対する「不当な差別的取扱いの禁止」や「合理的配慮の提供」等への道が確実に拓かれるようにと言う思いを込めて編集にあたりました。